

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

宮古島市立北小学校 与那城 貴俊

1 単元名 「北っ子たんけんたい～のこしたい！ウマリズマのたからもの～」

2 単元目標

・地域の伝統文化を調べる活動を通して、宮古島の伝統・文化を受け継いでいく方法や学習活動から見えてきた課題を解決するために必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探究的な学習のよさを理解するようにする。 【知識・技能】

・調べたことから課題を見つけ、考えたことや気付いたことを話し合い、わかりやすく整理してまとめ、伝えたいことを適切に表現することができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】

・地域の良さや伝統・文化を守る人々に対する自分の考えをもち、未来を見据え地域の一員として関わって活動できることはないか意欲的に考える態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編、第3章・第3節「各学校において定める目標及び内容の取扱い」を踏まえて、地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などから設定した単元である。

本単元では、児童の住んでいる北学区に焦点を当てて学習を進めていく。地域学習の中で、史跡が多く残っていることや伝統・文化が守り受け継がれてきたことに気づき、その存続をどうするか考えるいい機会となる。

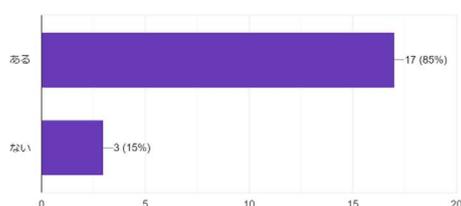
その中でも、本単元では、「方言」を教材として扱う。方言は、子ども達にとって比較的情報を収集しやすい教材である。「綾道巡り」「総合博物館見学」「地域人材を活用した講話」等の活動を通して、残していきたい島の宝として多くあげられたのが「方言」であった。本単元では、残したい島の宝を出発点に子ども達からだされた方言に関する全てのことを学びの対象とし、「①方言を残す理由や方言の価値」、「②地域の人々の方言の思い」、「③方言から学ぶ地域の文化」に焦点を当て、他の教材と関連させながら「総合的」に学んでいくことを目指す。また、自分たちの学んでいることとSDGsとの関連性について確認することで、自分たちの活動の意義や価値付けをして、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」に対する考えを深めていく。

(2) 児童観

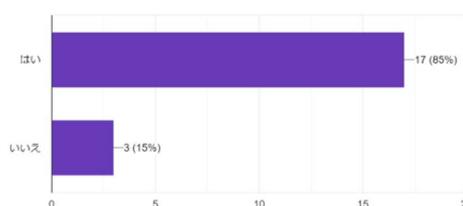
本学級の児童は、1・2年生の生活科の学習において地域の様々な場所、自然と関わる体験を通して、地域への愛着や理解を深めてきた。3年生になり、社会科「わたしたちのまちと市」では、これまでの生活経験やグーグルアース等で、土地の高低や建物の様子、についてまとめた。

事前アンケートでは、「自分の住んでいる地域が好き」と答えた児童が95%、「宮古島には自慢できるものがある」と答えた児童が85%、「大人になっても宮古島に住みたいか」という質問に児童は85%の児童が住みたいと答えており、自分たちの住んでいる地域に興味関心があり、地域学習に肯定的な考えをもつ児童が多いことが分かった。しかし、地域の実態を曖昧に捉えていたり、初めて知ったりする場所も多く、地域の特色について気付いている児童は少ない。また、「宮古島の伝統・文化を守ることは大切であるか」、「方言は好きですか」という質問には、100%が大切と答えたが、「自分や自分の家族が日常的に方言を使っていますか」という問いには、90%が使っていないと答えた。そこで、地域の特色を更に深められるよう、学習対象を「方言」に焦点をあて、活動を主体的に解決していく学習に発展させるようにしていきたい。

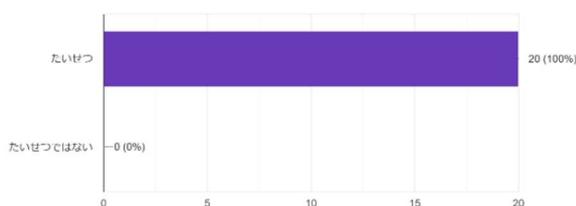
宮古島には、しまんできるものがありますか？
20件の回答



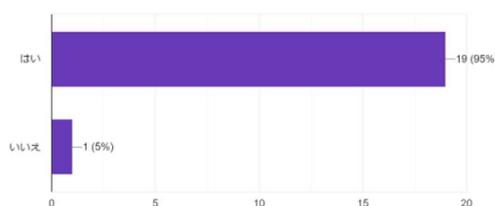
大人になっても宮古島に住みたいですか？
20件の回答



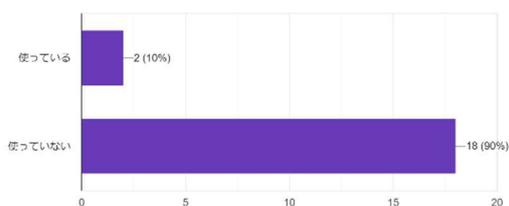
宮古島の伝とう・文化を守ることはたいせつ？
20件の回答



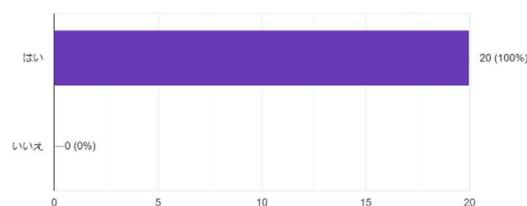
自分のすんでいる地域が好きですか？
20件の回答



自分や自分の家族が日常的に方言を使っていますか？
20件の回答



方言は好きですか？
20件の回答



(3) 指導観

児童の実態から、地域資源を見つめ直し、自分たちの住む地域への理解を深め、地域の一員としての自覚をもつ機会としたい。また、探求課題を「のこしたい！ウマリズマのたからもの」の中の「方言」と向き合い、疑問、課題を立てて活動を進める。活動・体験→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現をスパイラルで活動していく。活動の過程では、できる限り人々の思いや考えに触れるため、博物館見学、綾道巡り、校長講話(学校の変遷)、方言の特設授業を設定する。また、活動を繰り返す過程でSDGsとの関連を明確にすることを大切にしていきたい。活動で明らかになった情報を整理・分析し、意見を形成する過程では、常に自分事として捉えさせる。そして、活動の結果を発表・発信させていく事へつ

なげ、主体的・協働的な学びや問題解決力の素地を身に付けさせたい。その具体的な取り組みとして、以下の3点を挙げる。

① 地域人材の活用

地域の人材を有効活用し、これまで文化を受け継ぎ、暮らしを支えた人々の思いや考えに触れることで、自らも守り続けていきたいという思いを培っていく。これにより、文化や豊かな暮らしを守ることは大切であるという大まかな概念が具体性を増して理解が深まる。

② 体験的な学習

現代は、インターネットや動画を用いることでだいたいの情報をつかみ取ることができる。しかし、本單元では児童が主体的に取り組む学習を目指し、体験的な活動を取り入れることで、日常生活や社会に関わる課題と自分とのつながりを見いだしていきたい。実際に自分の目で見て、聞いて、肌で感じる活動を通して、新たな課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む指導の充実を図る。

③ SDGsの視点や持続可能な社会作りの構成概念に関わる発問の工夫

授業の狙いに応じた発問を工夫し、児童の気づきや疑問を引き出ししていく。

- ・多様性→いろいろある
- ・相互性→関わり合っている
- ・有限性→限りがある
- ・公平性→一人一人を大切に
- ・連携性→力を合わせて
- ・責任性→責任を持って

(4) SDGsとの関連

【関連目標④】質の高い教育をみんなに

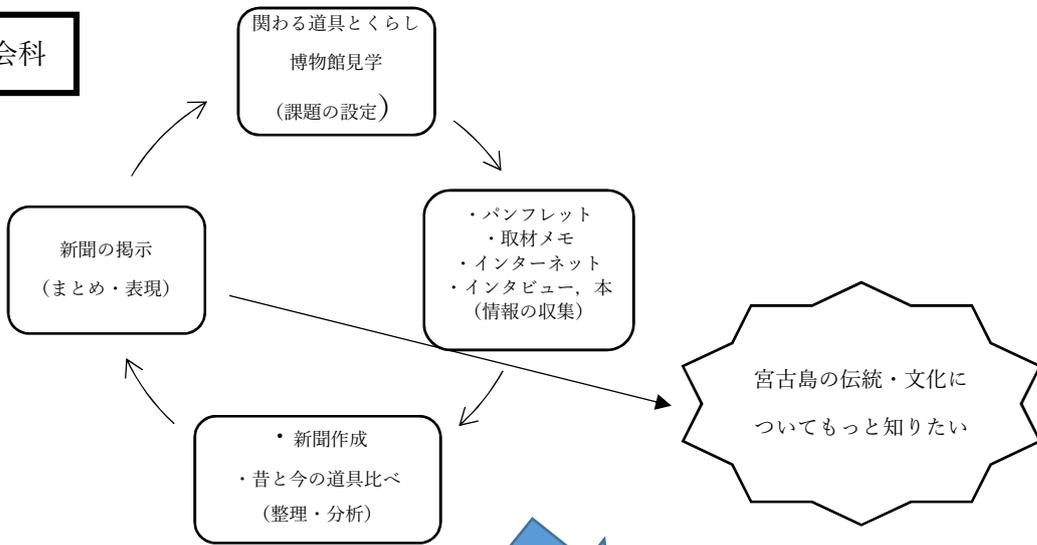
・地域の伝統・文化を題材に行う総合的な学習の時間において、探究的な学習にSDGsに関する内容を関連付けることで、多様な考えを獲得させ、SDGs達成に向けて、主体的に生活や学習に取り組む態度を養う。

【関連項目⑪】住み続けられるまちづくりを

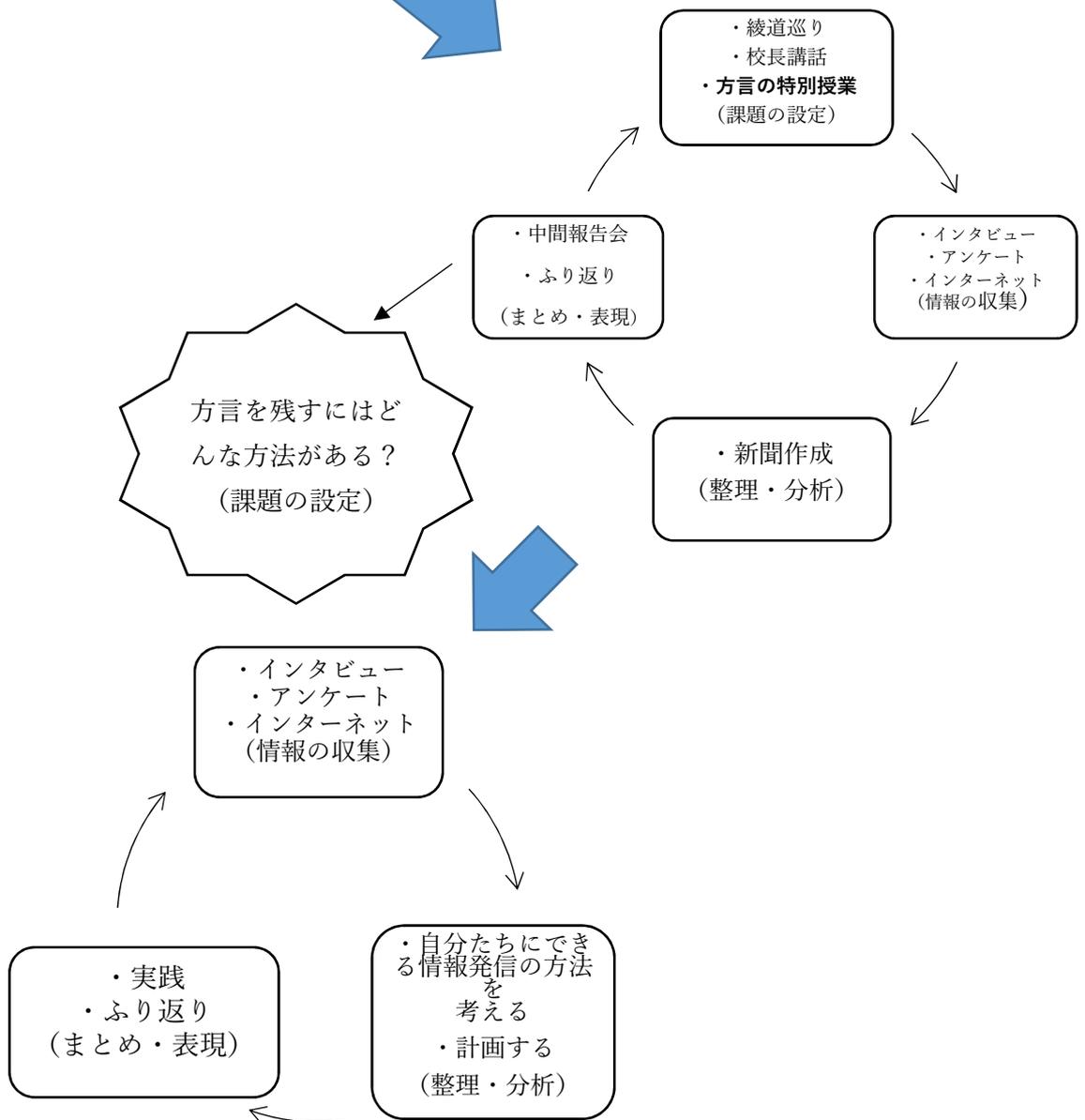
・伝統・文化のよさに気づき尊重する態度がないと、未来に残すことはできないという視点から、伝統・文化を守っていくために、これから先自分たちは何ができるのかを考え、実践することができるようにする。

本単元の構想図

社会科



総合



4 校内研究テーマとの関わり

つながりを大切にし、未来を創れる子の育成 ～SDG s 達成のための主体的な学習活動を育む教育課程の実現～

(1) 研究内容と本単元の関わり

【教材のつながり】

- ・国語科や社会科、道徳などの各教科の指導内容とのつながりを意識した指導を行い、横断的・総合的な学習を行う。

【人とのつながり】

- ・自分と他者とが時間と場を共有しながら互いに学び合い、つながり合うことで、多様な考えの獲得を図る。

【能力・態度のつながり】

- ・6つの構成概念と7つの能力・態度の育成を目指すとともに、身につけた能力・態度を実生活・実社会での実践につなげる。

- ・本単元では、社会科「町のようす」、「かかわる道具とくらし」や道徳「キツネおどり」、国語科「パラリンピックが目指すもの」といった学習内容との関連を図り、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら、課題の設定、解決に取り組んでいく。

- ・本単元では、地域の方によるワークショップや体験活動を通して、多様な立場や世代とのつながり、地域とのつながりを持たせる。そこで得た学びを児童同士をつながりを生かして共有することで、探究的な学習の実現を目指す。

- ・本単元を通して、身につけた能力・態度を行動に移していくことを目指す。単元を通して、「現実的な問題解決とのつながり」の視点に立ち、課題解決に向けた取り組みが、継続的・実践的なものとなるような指導の推進を図る。

(単元の仮説)

宮古島の文化や暮らしの良さに気づきこれまで受け継いできた方の思いを知ること、課題解決へ主体的に取り組む、未来を見据えた活動を協働的に実践していくことで、「つながりを大切にし、未来を創れる子の育成」が図られるであろう。

5 単元で取り入れる SDG s の視点表

持続可能な社会づくりの構成概念						SDG s の視点に立った学習指導で重視する能力・態度						
I 多 様 性	II 相 互 性	III 有 限 性	IV 公 平 性	V 連 携 性	VI 責 任 性	① 批 判 的 に 考 え る 力	② 未 来 を 予 測 し て 計 画 を 立 て る 力	③ 多 面 的 ・ 総 合 的 に 考 え る 力	④ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 行 う 力	⑤ 他 者 と 協 力 す る 態 度	⑥ つ な が り を 尊 重 す る 態 度	⑦ 進 ん で 参 加 す る 態 度

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 概念的な知識の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさ, 人々の思いを理解することができる。 <p>②自在に活用することが可能な技能の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な技能を目的や意図に応じて活用している ・探究的な学習のよさの理解 ・各教科等の知識及び技能を活用した探究活動により, 学習のつながりを見いだすことができる。 	<p>① 課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや願いをもち, 課題を見つけることができる。 <p>② 情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を多様な方法で収集し, 種類に合わせて蓄積している。 <p>③ 整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者との相互交流や表現によるふり返りを通して, 意見や考えをあきらかにすることができる。 ・調べたことをもとに根拠を明確にしながらかえをもつことができる。 <p>④ まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを分かりやすく整理し, 相手に伝えることができる。 ・学習を振り返り, 自己の成長を自覚し, 学習や生活に生かそうとしている。 	<p>①自己理解・他者理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を見直し, 自分の特徴やよさを理解しようとしている。 ・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとしている。 <p>② 主体性・協働性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会や実生活の問題の解決に, 自分のこととして取り組んでいる。 ・自他のよさを生かしながらか協力して問題の解決に取り組んでいる。 <p>③ 将来展望・社会参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の一員として自分の考えをもち, その実現に向けてはたらきかけることができる。。 ・学習で培った考えや思いを生活に生かそうとすることができる。

7 単元計画（指導と評価の計画）〔36時間〕

過程	◆学習活動	【評価規準】（評価方法） 《SDG s の視点》	評価		教科横断的な学習の関係性
			重点	記録	
課題の設定 8	<p>◆「宮古島の宝物を見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宮古島の宝物」 ・宮古島の「宝物」から連想することをイメージマップにしよう。 <p>◆「課題を見つけよう①」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の方々の話を聞いたりして、宮古島の歴史、伝統・文化について関心を高める。 <p>★綾道見学 ★校長先生による講話（学校の歴史） ★方言の特別授業</p>	<p>【知識・技能】① 【思考・判断・表現】① 【主体的に学習に取り組む態度】① （ノート・ワークシート） 《SDG s の視点》I, ①, ②, ③,</p>	<p>態</p> <p>思</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>【社会科】市の様子 ・私たちの町、みんなの待ちはどんな様子なのか気づいたり、考えたりすることを表現する。</p> <p>○【社会科】かかわる道具とくらし ・地域で使われている昔の道具に着目し、昔の道具に関心をもつことができるようにする。</p>
情報の収集・整理・分析 10	<p>◆「課題の解決方法を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことの自己課題を決定する。（方言） ・各自の課題を発表し、友だちの課題を知る。 ・課題をまとめ、解決方法を考える。 （インタビュー、アンケート、本、インターネット） <p>◆「発表会の準備をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめかたや発表の仕方を工夫し、うま 	<p>【知識・技能】②, 【思考・判断・表現】②, 【主体的に学習に取り組む態度】② （発言・ノート・ワークシート） 《SDG s の視点》I, ③, ⑦</p>	<p>思</p> <p>知</p> <p>態</p>	<p>○</p>	<p>○【国語科】パラリンピックが目指すもの ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約することができる。</p> <p>○【国語科】メモをとりながら話を聞こう ・話し手が伝えたいことの内容を捉えるために、話の組み立て方を意識して、必要なことを記録しながら聞くことができる。</p>

	く伝えるための効果的な方法を考える。				
まとめ ・表現 2	◆中間報告会 ・個人で作成した新聞を 発表する。 ・他の人の発表を聞き、 良かった点や感じた ことを発表する。	【知識・技能】③ 【思考・判断・表現】③ 【主体的に学習に取り組む 態度】④ (ノート・ワークシート) 《SDG s の視点》II, V, ①, ③, ⑤, ⑥	思	○	
課題 の 設 定 2	◆「課題を見つけよう ②」 ・方言を守り続けてい くためという視点か ら、新たな課題を設 定する。	【知識・技能】① 【思考・判断・表現】① 【主体的に学習に取り組む態 度】① (発表) 《SDG s の視点》IV, V, VI, ④, ⑦	知		【道徳】キツネおどり ・郷土の伝統文化を大切に し、郷土の伝統行事に進ん で参加しようとする心情を 育む 【道徳】いのちのまつり ・受け継がれ、受け渡してい くという生命のつながりが 分かり、生命を大切にして 生きていこうとする。
情報 の 収 集 ・ 整 理 ・ 分 析 10	◆「課題解決の方法を 考えよう」 ・自分たちにできるこ とを考える。 ・課題解決に向けて、グ ループごとに、情報 発信の方法を話し合 う。 ・話し合った方法をよ り具体化する。	【知識・技能】② 【思考・判断・表現】③ 【主体的に学習に取り組む態 度】③ (ノート・ワークシート) 《SDG s の視点》1, III, V ④, ③, ⑤	思	○	【音楽】ちいきにつたわる 音楽でつながろう ・沖縄の楽器の音色やリズ ムなどの特徴が生み出す 曲や演奏のよさなどを見い だしながら祭り囃子を聴い たり、旋律の音の動きや始 め・終わりの音に着目した 旋律のつくり方について 思いや意図をもったりす る。

<p>ま と め ・ 表 現 4</p>	<p>◆発信しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考え・計画してきたことを実際に行動に移す。 <p>◆「学習報告会」を開こう。(学習発表会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なプレゼンテーションで、調べたことや考えたこと等が、わかりやすく伝え合える。 	<p>【知識・技能】③</p> <p>【思考・判断・表現】④</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①</p> <p>(ワークシート)</p> <p>《SDG s の視点》II, V, ①, ③, ⑤, ⑥</p> <p>【思考・判断・表現】②</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①</p> <p>(発表)</p> <p>《SDG s の視点》V, VI, ④, ⑦</p>	<p>思</p> <p>思</p>	<p>○</p>	
	<p>◆自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と自分との関わりを見つめ直す。 <p>◆自己評価をし、1年間の学習を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を深め、1年間の学習を振り返る。 	<p>【知識・技能】③</p> <p>【思考・判断・表現】④</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】③</p> <p>(ノート・ワークシート・発言)</p> <p>《SDG s の視点》III, ①, ③, ④, ⑤</p>	<p>態</p> <p>態</p>	<p>○</p> <p>○</p>	